


◆指導展開例 日本の音楽に親しもう（全4時間+α総合）

		音楽科		総合的な学習の時間
学習活動・内容・児童の思い		指導上の留意点		資料等
1	<p>おはやしの旋律をつくって、リコーダーで演奏する。</p> <p>■校区にはどのようなお祭りがあるのか話し合い、まつりばやしを聞く。</p> <p>■ラ・ド・レの音の組み合わせを工夫して、旋律をつくる。</p> <p>・ラ・ド・レで音の組み合わせだと、おはやしっぽくなるね。</p> <p>・3つの音だけなのに、いろんな組み合わせができるね。</p> <p>■旋律をリコーダーで演奏する。</p> <p>・日本の伝統音楽の特徴を生かし、つくったおはやしを演奏する。</p> <p>・はじめの音をラで演奏してみよう。</p> <p>・はじめはゆっくり、途中からはやく演奏するともおはやしっぽくなるよ。</p> <p>・リズムを変えてみよう。</p> <p>・作ったふしを紙に書いてみよう。</p>	<p>○ 子どもたちは、校区の祭りや伝統行事からお囃子やおどりが付随していることを体感していることから、身近な校区のまつりばやしを取り上げることで、日本の音楽に親しみを持たせる。</p> <p>○ 3年生で学習を始めたリコーダーを用い、和声の響きをあまり意識せず、既習の3音を用いて、おはやしの音楽をつくりあげること、達成感を味わわせるようにする。</p> <p>○ 日本の音楽には、特徴付ける共通の響きや音階があることから、その特徴を生かした旋律づくりに取り組ませる。</p>	<p>・校区地図</p> <p>○祭りの様子がわかる写真</p> <p>・わたしたちのまち堺（昔から伝わるもの P90~93 参照）</p> <p>○ふとん太鼓（月見祭）開催場所 9月中旬 開口神社、菅原神社、方違神社、船待神社、石津太神社(石津太神社のみ10月上旬)、百舌鳥八幡宮</p>  <p>・堺の地域の秋祭りとして有名なのがふとん太鼓で、大きな神輿を担いで練り歩く祭りです。五枚重ねの朱色のふとんは、神様が座る場所で目にも鮮やかです。堺では、9月中旬に開口神社をはじめ多くの神社の秋祭りとして行われています。特に、百舌鳥八幡宮の秋祭りは、中秋の名月にかけて行われるため「月見祭」と呼ばれています。大小17基のふとん太鼓が2日にかけて宮入り宮出を行う、華麗でダイナミックな祭りです。（堺区HPより）</p>	

<p>2</p>	<p>おはやしの雰囲気を出して、楽しんで演奏する。</p> <p>■拍子に合わせて、リコーダーや和太鼓を用いてリレー演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとおはやしっぽくするには、どんな工夫ができるかな。 ・かけ声を入れてみよう。 ・笛を使ってみよう。 ・太鼓も使ってみよう。 ・どんなリズムが合うかな。 ・ばちまわしも入れられるかな。 ・もりあがるところは、どのように演奏しようかな。 <p>■日本の伝統音楽のふしや歌い方の特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の地区にはどんなお囃子があるのかな。 ・日本にはどんなお囃子があるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祭りへの興味関心を高め、様々な音の響きやその組合せを楽しむようにする。 ○ 楽器の音色や表現を工夫したり、思いや意図をもって演奏したりする喜びを味わうことを大切にす。 ○ 郷土の音楽の旋律の流れやリズム、演奏の様子などに意識しながら鑑賞させる。 	<p>○祭りの楽器</p>  <p>(出典：日本コロムビア株式会社)</p>	
<p>3</p>	<p>地域にねづいた祭りについて知り、音楽に親しむ。</p> <p>■校区のまつりの音楽を聴き、地域の生活に結びついた行事には、固有の音楽があることを知る。</p> <p>■江州音頭の歌に合わせて、踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムやたたき方や音がぼくたちの考えたものとは違うね。 ・同じ楽器でも祭りで使ったのと学校のでは、形や音色や音の高さが違うね。 ・自分たちの郷土の音楽を大人になっても忘れず、大切にしていきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校区の祭りに関心を持ち、進んで楽しませる。 ○ 江州音頭の特徴やよさを感じ取り、演奏の仕方を工夫できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の祭りの音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・江州音頭 (金岡小学校 HP 参照) ・すずめ踊り (堺すずめ踊り協賛会 HP より)  <ul style="list-style-type: none"> ・子ども神輿 <ul style="list-style-type: none"> ○ はっぴや豆紋り (地域の自治会等から貸してもらおう等が考えられる) 	<p>(地域の祭りについて、発展的に扱うことも考えられる。)</p> <p>■地域の人 (例：金田江州音頭保存会のみなさん) にインタビューしよう</p> <p>※インタビューについては、ポータルサイトの「学び方コーナー」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ○祭り、祭りに寄せる地域の思い、祭りの音楽の歴史についての話を聞く。 ○江州音頭の踊りと歌の実演を見る。 ○踊りを習い、お囃子にあわせて踊る。太鼓を叩いて参加する。 ○校区のこどもたちへのメッセージを聴く。など

4	<p>日本の伝統音楽に親しむ。</p> <p>■ 祇園囃子、神田囃子の2つのおはやしを聴き、日本の祭りの囃子の雰囲気を感じ取り、親しむ。</p>	<p>○ 2つのおはやしを聴き、日本の音楽の特徴に気づかせる。</p>	<p>・ 祇園囃子の音源（出版社キング録音資料 DVD、CD）</p> <p>・ 神田囃子の音源（出版社コロムビア録音資料 DVD、CD）</p>	<p>○ 日本の伝統音楽をグループに分かれて練習し、発表会をする。</p>
---	---	-------------------------------------	---	---------------------------------------